

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

平成30年 9月 4日

山梨県知事 殿

本人氏名 徳嶽芙美

次のとおり留学が修了したことを報告します。

留学先	国名	アメリカ合衆国
	所在都市	アイオワ州 デモイン
	学校等名	デモインエリアコミュニティカレッジ
留学日程	出発日	平成29年 8月 5日
	留学先学校等 在籍期間	平成29年 8月 7日 ~ 平成30年 8月 1日
	帰国日	平成30年 8月 5日

添付書類

留学結果報告書(別紙様式4-B)

留学で学んだこと及び学んだことを今後どのように活かすかなどについて、
4000字程度で記述してください。

※10枚以内に収めてください。

※パソコン・ワープロ使用可

(使用する文字は12ポイントとしてください。)

※留学先での様子が分かる写真も添付してください。

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

はじめに

私は、アメリカ合衆国アイオワ州にあるデモインという都市にて1年間の交換留学をしました。この報告書では、本留学で学んだこと、その活かし方についてまとめます。

留学目的

まず、本留学では、一年間のフィールドワークを通して情報発信手法を学ぶことを目的にしていました。そのため、留学期間中は、現地の方に、様々なイベントや農場、観光地へと連れて行ってもらいました。なぜ私がそのような目的を設定したのかというと、大学のゼミ内で、県内の地場産業のなかでも海外進出を狙っている企業への訪問がきっかけで、アメリカでは一般的にどんな情報発信方法がとられているのか、自分の目で知りたいと思うようになったからです。留学しようと思ったとき、その目的はよく英語学習だけになってしまいがちだと思いますが、私にはそれ以外にも目的があったことでより有意義な留学期間を送ることができたと思います。

私の留学先であるアイオワ州は、アメリカ合衆国のほぼ中心に位置し、ハートランドとも呼ばれています。大都市からはやや離れていて、海は無く、自然も多く、農牧業が盛んで少し街を離れると広大なトウモロコシ畑や大豆畑、豚、牛などの放牧風景を見ることができるような場所です。立地条件が山梨県に似ていることから、アイオワ州での情報発信手法の学習は山梨県の認知度アップにも生かせるのではないかと、という狙いもありました。

フィールドワークの一環として、ホームページや雑誌でデモインについて紹介している組織内の方にお話を聞く機会がありました。そこで分かったこととして、主にアイオワでは国内向けの情報発信がほとんどで、あまりお金はかけていない。アイオワについての情報提供の場所は、インターネット、紙、ラジオ、テレビ等で、紙媒体の制作にはお金がかかるため、現在はインターネットでの情報提供が多いということでした。また、ターゲット設定をした広告をFacebookなどで採用しているようでした。このターゲット設定での広告とは、例えば、ある広告をFacebook上の30~40代で甲府市の女性向け、と設定しておくことで対象者のFacebook上にその広告が表示されるというものだそうです。さらに、別の地域と連携してのPRはあまりないようでしたが、地元企業と協力して情報発信を行うことはよくある、とわかりました。

また、Farmer's Market、Bacon Festival、World Food & Music Festivalをはじめ、様々なフィールドワーク先で目にしたものが、「顔はめパネル」とインスタグラムの枠型の「写真スポット」です。そして、アイオワの代表的な“RAGBRAI”という、一週間かけてアイオワの西から東へ自転車に乗るイベント参加した際は、大きなIOWAのオブジェと共に写真が撮れる

山梨県若者海外留学体験人材育成事業（大学生等コース）留学結果報告書

スポットがコースに含まれていて、行列ができるほど人気のスポットとなっていました。これらは、写真を SNS に投稿するだろう若者が特に多く写真を撮っているように感じました。やはり、現在は SNS の活用が、情報発信には欠かせないように思います。



RAGBRAI での写真

学業面

留学期間中は DMACC（デモインエリアコミュニティカレッジ）にて、ESL、 Human Relations、ピアノレッスン、スペイン語の授業に参加しました。

主に英語の習得を目的とする ESL のクラスには異なる母国語をもった生徒が集まるため、アクセントやよく使うフレーズも皆ばらばらで、相手の言っている事を聞き取り、言葉を返すという簡単なコミュニケーションでさえも体が慣れるまでやや時間がかかりました。英語で、国籍を超えた会話ができるようになることで、より多くの異文化に触れることが可能となり、英語の習得だけに留まらず異文化コミュニケーションの場ともなった ESL クラスは、大変有意義な時間だったと感じています。

そして、Human Relations のクラスでは、ビジネスの場面・職場・日常生活での人との関わり方について、を学びました。このクラスは、特に履修し甲斐のあったクラスの一つです。なぜかという、まず私の通う大学では学べない内容であること、また、すぐ生活に応用できるスキル・就職後に役立つ知識などを幅広く学ぶことができたためです。

そして、スペイン語のクラスは、メキシコ出身の先生のもとで春・夏の二学期にわたって学びました。留学前にも大学でスペイン語の授業を受けていましたが、英語での授業ということで少し不安だったので、復習も兼ねてゼロから学び直しました。授業内容としては、テキストに沿って進めていき、パートナーとともに練習問題に取り組む時間、先生の後に続いて発音練習をする時間が各授業内で必ずありました。また、クラスメートと

山梨県若者海外留学体験人材育成事業（大学生等コース）留学結果報告書

先生でメキシカンを食べに行ったり、教室でラテン料理とともにパーティーを行ったりすることで、授業で習ったスペイン語での料理注文を実践する機会もありました。スペイン語は、世界でも多くの人に話されている言語で、アメリカでできた友人のなかにスペイン語圏出身の子も多く、生活していてもスペイン語が聞こえてくるのが非常に多かったため、スペイン語習得には有利な環境だったと感じています。さらに、言語のクラスということで、社会人で学びに来ている人も多く、そういった幅広い年齢の人とも交流できたことは、特にスペイン語クラスを受けて良かった点だと思います。

最後に、ピアノレッスンを受けたのは、元々ピアノを弾くことが好きだったため、それを英語で教わるという体験を試してみたかったからです。そして、自分の好きな事を授業として受けることで、リフレッシュや気持ちの切り替えの時間となり、留學生活に良いメリハリをもたらしてくれました。

学内での活動

留學中は、DMACCのインターナショナルクラブに所属していました。このクラブには本当に様々な国籍の生徒が在籍し、ミーティングを行ったり娯楽施設に遊びに行ったり、スキー旅行へ行ったりと様々な活動がありました。なかでも一番大きいイベントとして、マルチカルチャーフェスティバルというものがありました。これは、自分の国の衣装を着てファッションショーへ出たり、自国の料理を持ち寄って大勢の参加者に振舞ったり、それぞれの特技や民族ダンスを披露するといったイベントです。日本人は私を含め3人程いたため、お好み焼きを作ったり、浴衣や作務衣、空手道着を着て振舞い、ファッションショーにも参加することで、日本についての発信をすることができたと感じています。

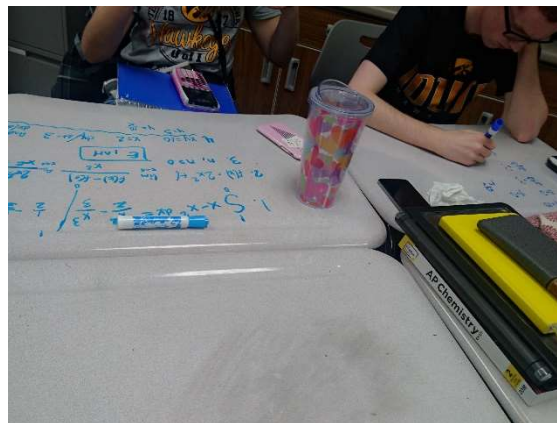


高校訪問

アイオワ州アンケニーにある Ankeny Centennial High School という高校で、一日高校生活を体験させていただきました。大学進学を控える学年の女の子とペアになり、アメリカの高校生がどのように高校生活を送

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

っているのかを、実際に見てきました。まず、日本の高校と大きく違う点としては、多くの生徒が自分で車を運転して登校してくる所です。日本では考えられないことなので、これにはとても驚きました。また、理数科目の授業で使用される教室の机は、大体がプラスチックのような素材でできており、生徒たちは皆マーカーペンで自分の机に計算式やグラフを、書いたり消したりしている光景に驚きました。そして、日本の授業中の様子に比べ、積極的にわからない部分の説明を求める生徒が多いと感じました。また、教師からの問いかけに対しても、発言する生徒が偏っておらず、どの生徒も恥ずかしがることなく自分の意見を発表している様子がとても印象的でした。



日本人との交流

Japan America Society of Iowa (JASI) といって、アイオワの日米協会という組織との出会いを中心に、日本人と交流する機会がたくさんありました。JASIは、アイオワにおける日本人とアメリカ人のコミュニティー相互理解を促すため、毎月のミーティングや季節ごとにイベントを行っている組織です。私は、ミーティング、忘年会、新年会、たこ焼きパーティーなどに参加してきましたが、そこには日本人だけでなくアメリカ人も積極的に参加してくれるため、新たな人脈が生まれたり、アメリカに居ながらも毎回顔を合わせられる日本人とのつながりが持てたりと、毎回有意義な時間を過ごすことができました。また、アメリカでの留学ということで、日本にはないアメリカの良い部分などにばかり目を向けてしまっていた私は、JASIでの活動を通して、改めて日本の誇るべき文化や習慣などを、認識することができたと感じています。

さらに、JASIで出会った日本人女性たちが運営をする「学び舎」という子供向けの日本語教室にも伺い、何度かお手伝いさせていただく機会がありました。そこに通う子供は、日本人、アメリカ人、親が日本人でもアメリカで育った子、など、境遇は様々ですが、皆積極的に日本語を覚えようとする姿勢が印象的でした。この学び舎では、日本食の試食会、日本の季節行事、料理教室なども行って、楽しんで日本の文化を吸収でき

山梨県若者海外留学体験人材育成事業(大学生等コース) 留学結果報告書

る環境だと思っています。私は留学前より、山梨県立大学で国際ボランティアクラブ(IVC)というものに所属し、日本語を母語としない子供たちを対象とした学習支援教室で活動してきました。そのため、留学先でも学び舎という場でお手伝いできたことは、今後のIVCでの活動に必ず生きてくるとしています。

サポート

私の留学先であるアイオワ州は、山梨県との姉妹都市ということもあり、毎年山梨県から留学生がアイオワを訪れます。その度に受け入れてくださる方々が、私の留学に対しても、初日から空港に迎えに来てくれたり、遠方でのイベントに連れて行ってくれたり、食事に招いてくれたり、買い物に連れて行ってくれたりと、数えきれない程のサポートをしていただきました。アメリカで、車のない私の留学生活は、そんな方々無しには、全く成り立っていなかったと思います。この1年間、これまでになく心温かくサポートしてくださる方々に触れ、私自身もこれからは、誰かをサポートする側に立ち様々な面で支援できる人間になりたいという目標ができました。



1年を通してお世話になった方々

終わりに

本留学は、大村智人材育成基金事業、そして家族をはじめとする全ての方々のご支援のもと無事に終わることができました。本当にありがとうございました。目標のためこのように大きな支援を受けられたことを振り返ると、大変嬉しく、気が引き締まる思いです。今後は、学生の留学をサポートする側に立ったり、本留学で学んだことを糧に社会に貢献していきたいと考えております。